

報告書抄録

ふりがな	たかはしやまさきいせきに							
書名	高橋山崎遺跡Ⅱ（第9～16調査区）							
副書名	今治新都市開発整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書							
巻次	第5集							
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第124集							
編集者名	白石 聡 丸毛のぞみ							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-8511 愛媛県今治市別宮町一丁目4-1 Tel. 0898-32-5200(代)							
発行年月日	西暦 2014年3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
たかはしやまさきいせき 高橋山崎遺跡	いまばりしたかはしこう 今治市高橋甲1503番地外	38202		34° 02' 09" }	132° 57' 49" }	20020821 } 20070331	12,030㎡	記録保存調査
				日本測地系 (第Ⅳ系)				
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
高橋山崎遺跡	集落跡	弥生時代中期中葉	竪穴住居 掘立柱建物 土坑 溝状遺構		弥生土器 分銅形土製品 銅鐸形土製品 石器			
		弥生時代後期	竪穴住居		弥生土器 石器			
		古墳時代後期	竪穴住居 掘立柱建物 土坑 溝状遺構		土師器 須恵器 鉄器			
		古代	掘立柱建物 土坑 溝状遺構		土師器 須恵器 土師質土器 瓦 鉄器			
要約	今治平野西奥部に位置する、日高丘陵の谷開口部付近に位置する。南は丘陵、北は自然流路に挟まれた緩傾斜地（平坦部）に展開する集落遺跡である。時代は、縄文時代晩期後半、弥生時代中期～後期、古墳時代後期、古代と断続的に多時期にわたっている。中でも弥生時代中期後葉～後期と古墳時代後期が集落の中心時期である。弥生時代中期後葉～後期には今治平野最大級の規模をもつ大型竪穴住居が集落の中核の建物としてあり、建て替えを伴う祭祀行為もみられた。一旦、断絶期を挟んだ後、古墳時代後期に集落は盛行期を迎える。多くの竪穴住居と掘立柱建物が検出されたが、その配置は規則的なもので、南側丘陵部には古墳群を築造することができた集落であった。							